

ヒトを宿主とするヘルペスウイルス(HHV-1～HHV-8)まで8種類ある

ウイルスの種類		主な病気
単純ヘルペスウイルス1型	HSV-1	口唇ヘルペス、ヘルペス性歯肉口内炎、カポジ水痘様発疹症、角膜ヘルペスなど
単純ヘルペスウイルス2型	HSV-2	性器ヘルペスなど
水痘・帯状疱疹ウイルス	VZV	水ぼうそう、帯状疱疹
エプスタイン・バーウイルス	EBV	伝染性単核症
サイトメガロウイルス	CMV	肺炎、網膜炎
ヒトヘルペスウイルス6	HHV-6	突発性発疹、脳炎など
ヒトヘルペスウイルス7	HHV-7	突発性発疹
ヒトヘルペスウイルス8	HHV-8	カポジ肉腫
Bウイルス	CHV-1	Bウイルス病

宿主の細胞膜を自身のエンベロープとして保有。  
皮膚や粘膜を介してヒトに感染したウイルスは、エンベロープを宿主細胞膜と融合 (fusion) させることで細胞に侵入する。  
ウイルスは神経にそって上行し、脊髄神経節や三叉神経節や仙髄神経節に潜伏感染する。

### HSV-1 (Herpes simplex virus type 1)

主に口唇ヘルペスを生じ、ヘルペス口内炎、ヘルペス角膜炎、単純ヘルペス脳炎の原因となりうるとともに三叉神経節に潜伏感染する。

### HSV-2 (Herpes simplex virus type 2)

主に性器ヘルペス、新生児ヘルペス、ヘルペス髄膜炎、ヘルペス脊髄炎の原因となりうるとともに腰仙骨神経節に潜伏感染する。

性器ヘルペス、ヘルペス脳炎  
五類感染症定点把握疾患。

治療

口唇、性器: アシクロビルが有効。

神経節内の潜伏感染しているウイルス対してアシクロビルは無効

角膜への感染: イドクスウリジン (IDU) を点眼  
アシクロビル眼軟膏

ヘルペス瘰疽（ひょうそ）：

手指などに単純疱疹が多発し、相当な痛みを伴う。  
看護師などの医療関係者、重傷のアトピー性皮膚炎の患者などに起こることがある。

ヘルペス後神経痛：

ウイルスの頻繁な再発等で感染した部位を中心に広範囲な神経痛（痛み、痺れ、疼痛）が後遺症として残ることがある。

HSV-1は、頭頸部や中枢神経系のほかにも、肺や肝臓で感染症を引き起こすことがある